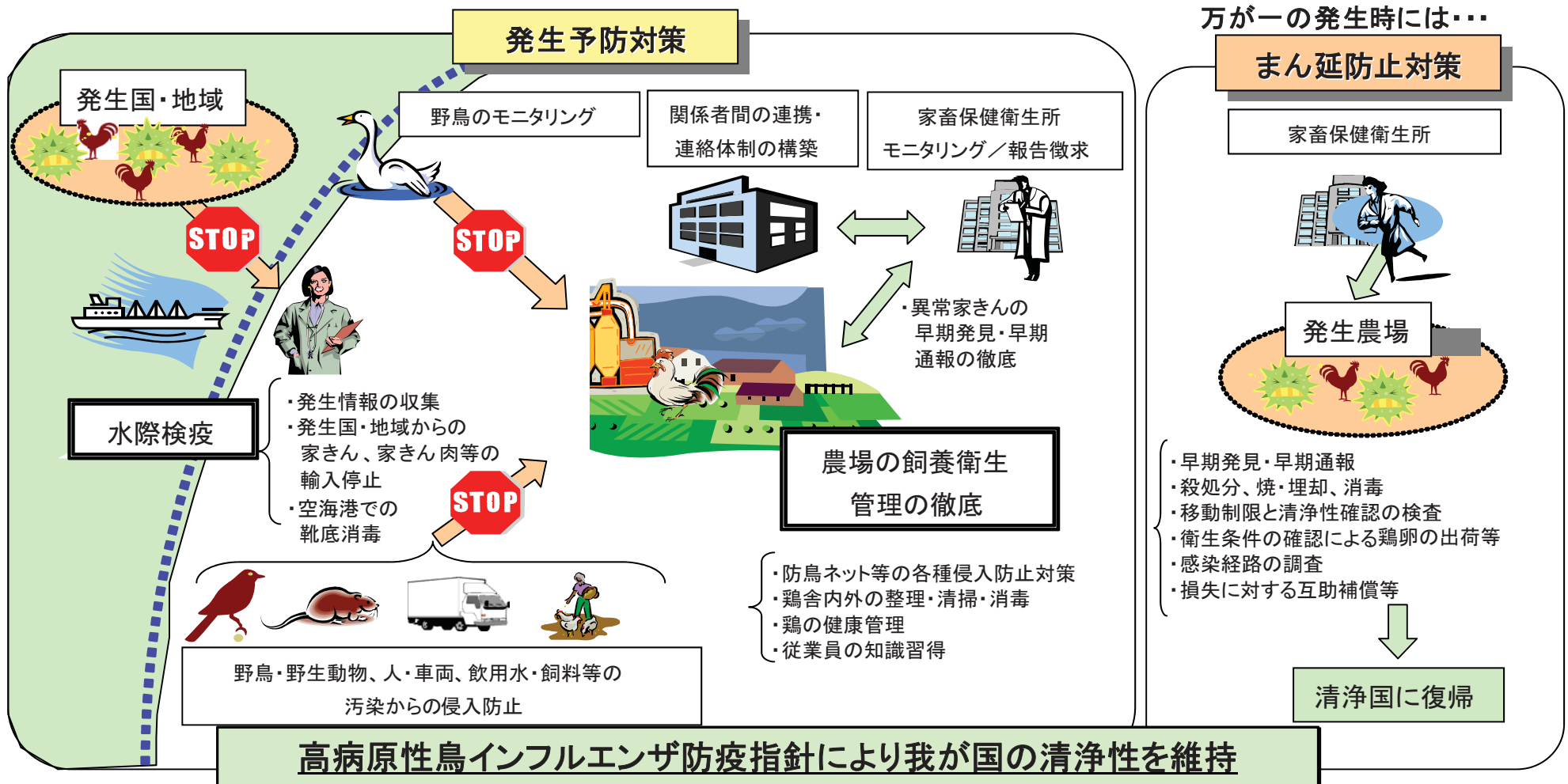


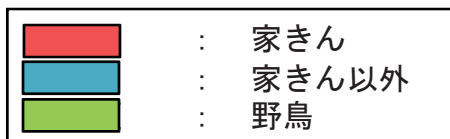
# ○ 高病原性鳥インフルエンザ対策

## (1) 対策の概要

- ・ 海外の発生情報の収集及び水際検疫体制の確立
- ・ 家きん・野鳥のモニタリングによる監視及び異常家きん等の早期発見・早期通報の徹底
- ・ 農場の飼養衛生管理の徹底による発生予防対策の実施
- ・ 防疫演習や緊急防疫対応等の危機管理体制の構築
- ・ 発生時の殺処分及び移動制限などの迅速なまん延防止対策の実施



## (2) 平成22年度における高病原性鳥インフルエンザの確認状況



<平成22年>  
 12月 富山県高岡市 (動物園のコブハクチョウ)  
 <平成23年>  
 2月 兵庫県加東市 (公園のコブハクチョウ)  
 山口県宇部市 (公園のコクチョウ)

野鳥での確認事例  
全16県

<平成22年>  
 10月 北海道稚内市(カモの糞)  
 12月 鳥取県米子市(コハクチョウ)  
 鹿児島県出水市(ナベヅル)  
 <平成23年>  
 1月 北海道浜中町(オオハクチョウ等)  
 福島県郡山市(キンクロハジロ)  
 兵庫県伊丹市(ホシハジロ・カイツブリ)  
 鳥取県米子市(ユリカモメ・キンクロハジロ)  
 島根県松江市(キンクロハジロ)  
 高知県仁淀川町(オシドリ)  
 2月 北海道浜中町(オオハクチョウ)  
 福島県福島市(コハクチョウ)  
 栃木県宇都宮市(ハヤブサ)  
 愛知県春日井市(ハヤブサ)  
 京都府精華町(ハヤブサ)  
 兵庫県西宮市(カンムリカイツブリ)  
 鳥取県大山町(キンクロハジロ)  
 米子市(ホシハジロ、ハヤブサ)  
 島根県松江市(キンクロハジロ・ホシハジロ)  
 山口県宇部市(キンクロハジロ)  
 徳島県那賀町(フクロウ)  
 長崎県長崎市(オシドリ)  
 諫早市(ハヤブサ)  
 大分県中津町(オシドリ)  
 大分市(オシドリ、アオサギ)  
 宮崎県諸塚村(カイツブリ)  
 日南市(オシドリ)  
 延岡市(ハヤブサ)  
 宮崎市(ハヤブサ、オシドリ)  
 鹿児島県出水市(ナベヅル)  
 3月 青森県三沢市(ハヤブサ)  
 栃木県塩谷町(オオタカ)  
 島根県松江市(キンクロハジロ)

<平成23年>  
 3月 千葉県千葉市 (2例)  
 (2農場 約97,000羽)

<平成22年>  
 11月 島根県安来市  
 (1農場 約2万羽)

<平成23年>  
 <<大分県>>  
 2月 大分市  
 (1農場 約1万羽)  
 <<宮崎県>>  
 1月 宮崎市(佐土原町)、  
 新富町、都農町、川南町、  
 延岡市(北川町)、  
 高鍋町、宮崎市(高岡町)  
 2月 高千穂町、都農町、  
 門川町、宮崎市(高岡町)、  
 延岡市(北浦町)  
 3月 門川町  
 (13農場 約102万羽)  
 <<鹿児島県>>  
 1月 出水市  
 (1農場 約8,600羽)

**家きんでの発生事例  
全9県 24農場 約183万羽**

<平成23年>  
 <<奈良県>>  
 2月 奈良県五條市  
 (1農場 約10万羽)  
 <<和歌山県>>  
 2月 紀の川市  
 (1農場 約12万羽)

<平成23年>  
 <<愛知県>>  
 1月 豊橋市  
 2月 新城市  
 (2農場 約17万羽)  
 <<三重県>>  
 2月 紀宝町  
 南伊勢町  
 (2農場 約31万羽)

※ 現在、性状を検査して判明しているものについては、全てH5N1亜型(強毒)である。